

## ホルモン高血圧内科のご案内



より良い医療を  
地域の人々に

社会医療法人  
岡村一心堂病院

岡山市東区西大寺南 2-1-7

Tel 086-942-9900

URL : <http://www.iss shin.or.jp/>

E-mail : [info@iss shin.or.jp](mailto:info@iss shin.or.jp)

## ホルモン高血圧内科のご案内

ホルモン高血圧内分泌内科 長谷川 功

2018年4月から毎月第3週土曜午前（9時～12時）にホルモン内分泌内科を担当する事になった長谷川功と申します。2014年から出身である岡山に戻ってきて内分泌代謝疾患をはじめ内科全般を診療しています。



内分泌代謝疾患には以下のような代表的な疾患があります。

### ・糖尿病

インスリンはブドウ糖を筋肉や肝臓へ取り込み、血糖値を下げるホルモンですが、糖尿病ではインスリンの分泌が低下したり、インスリンの働きが悪くなる事で起こります。過食、運動不足、肥満、ストレスなどの生活習慣の乱れや加齢といった要因が加わり、発症するとされています。糖尿病の初期症状は口の渇き、多飲・多尿などです。糖尿病が進行すると失明の恐れや、腎臓の機能が悪くなったり手足の先のしびれが出現しますまた心筋梗塞・脳梗塞の危険因子となりうるため、糖尿病は初期からの治療介入が大切です。

### ・甲状腺機能の異常

甲状腺ホルモンが多く分泌される甲状腺機能亢進症（バセドウ病など）や、分泌が低下する甲状腺機能低下症（橋本病など）があります。甲状腺が腫れて、機能亢進症では痩せ、汗かき、動悸、手の震え、下痢などの症状が、機能低下症では疲れやすさ、冷え、便秘などが見られます。

### ・副腎ホルモンの異常

両側の腎臓の上にある副腎という臓器では血圧を上昇させるホルモンが3種類分泌されています。高血圧症の大部分は動脈硬化によるものですが一部にこれらのホルモンが過剰に分泌される事でおこります。血液検査・尿検査などで検査が出来ますので急な血圧上昇や降圧薬に抵抗性の場合に疑います。

### ・脳下垂体ホルモンの異常

脳の下垂体というところでは、ステロイドホルモン・甲状腺ホルモン・成長ホルモン・性ホルモンの調整に重要な役割を担っています。これらのホルモンが過剰に分泌される病気とホルモンが低下する病気のどちらもあります。これらのホルモンの異常で様々な不調を来します。血液検査や尿検査、MRI（磁気共鳴画像）などの検査で分かります。

これらの病気はホルモンの血液検査などで診断出来て治療も可能です。上記のような症状がある方はお気軽にホルモン高血圧内分泌内科を受診して下さい。

ホルモン高血圧内科診療 長谷川医師担当日時

毎月第3土曜 午前9時～12時（受付は11時30分まで）